

2学年通信

Dreams come true

山形県立米沢興譲館高等学校

2学年通信 No.37 通算 101

2016.7.14 (木) 発行

いよいよ最終章 高島っ子の趣味&特技 パート3!

1組 T. K さん 剣道部

僕はいつも自分が聴いている好きなアーティスト「サカナクション」について紹介します。「サカナクション」は大型ロックフェスのトリなども務める実力派5人組ロックバンドで、最近映画「バクマン。」の主題歌として「新宝島」が使われてメディアでも結構取り上げられていたので、知っている人も結構いるのかなと思います。ジャンルとしてはロックサウンドにシンセサイザを取り入れたテクノロックともいわれるもので、僕は某Mステで「バッハの旋律を夜に聴いたせいです。」を初めて聴いて衝撃を受けて以来、ファンでいます。残念ながらライブなどには行ったことがないのですが、YouTubeなどで曲を片っ端から聴いていました。それに「サカナクション」は音楽もさることながらMVの映像も独特な一捻りのある面白いものでMVの賞なども受賞しています。どれもいい曲なので、興味を持った方はぜひ調べて聴いてみて下さい。



4組 S. H さん バドミントン部

僕の趣味は「仮面ライダー」です。これに関しては24時間語れますが、なかでも特に好きなのは平成第一作目として名高い「仮面ライダークウガ」です。クウガをみる前は龍騎や555をみて、正義と正義がぶつかりあうライダーバトルがかっこいい!となっていたり、悪の仮面ライダーにカリスマ性を感じ、そこに痺れる、憧れるウッ!となっていた僕ですが、それ以上にクウガには衝撃を受けました。

クウガと他の仮面ライダー作品との相違点は、仮面ライダーが最終回まで一人しか登場しないこと、戦闘シーン無くしてもいいんじゃない?と思うくらいドラマパートにも力を入れていること、怪人(現代に蘇った古代の戦闘民族:グロンギ)が現実にはおっかないなあと感じるくらい猟奇的でありゲーム感覚で人殺しをすること、仮面ライダーが怪人を倒すことでさえ単に暴力をふるっているにすぎないと解釈していることです。主人公の五代雄介(演:オダギリジョー)は心優しい青年で暴力をふるうのが苦手です。しかしみんなの笑顔を守るために、暴力をふるうことに悲しみを覚えながらも怪人と戦います。最終決戦では怪人サイドの王にして最強の戦士、ン・ダグバ・ゼバと戦うのですが、彼は戦ったり命を奪ったりすることで心から喜びを感じ、戦っている間は常に笑顔

という血も涙もない怪人で、戦いに悲しみを覚える五代雄介との対比が描かれます。五代は泣きながらダグバにパンチ、ダグバは笑いながらお返しのパンチを食らわせる。ただそれだけなのにどうしてこんなに真剣にみってしまうのでしょうか。

みなさんにも一度は仮面ライダークウガをみてほしいです。宣伝です。一考させられる登場人物達の名言や、怪人だけでなく苦悩とも戦う仮面ライダーなど、子供向け番組なのに大人でも楽しめる要素が満載です。今はテレビの規制が激しく、勧善懲悪な作品



が増えてしまいましたがその作品では主人公は本当に正義なのでしょう。とても考えさせられるのでお近くのレンタルビデオ屋に今すぐレッツゴーです。僕の住んでいる高島町二井宿にはそのような便利な施設は存在しないのでみなさんが羨ましいです。長くなりましたが一読ありがとうございました!

3組 S. K さん CSS

「私の趣味は?」と問われたとき一体なにを書こうか悩みましたが、今回は料理と好きな漫画についてお話ししようと思います。まずは好きな漫画ですね。様々ありますが主なものは「日常」と「干物妹うまるちゃん」です。「日常」の良い点を挙げるときりがありません。まず、なんといってもあのほのぼのとした日常感、読んでいて日々の疲れが取れていきます。個性的なキャラクター達、学生達の何気ないワンシーン、可愛らしい絵、どれを取っても素晴らしいです。また、日常は私が初めて買った漫画でもあります。小遣いを握り本屋に買いに行く時のワクワク感、本を購入した時のなんとも言えない満足感、本を集める楽しさを教えてくれた偉大な漫画です。そんな日常も去年の12月に連載を終了してしまいました。あの時のまるで友を失ったような喪失感なんとも言えません。日常が終わってしまい穴が開いていた心を埋めてくれた漫画が何を隠そう「干物妹うまるちゃん」です。うまるちゃんとの出会いは余り良いとは言えませんでしたね。ある日、アニメグッズショップのアニメイトを訪れた時、特設コーナーができていて初めてそこでうまるちゃんを知りました。その時の私はそこまで妹系の漫画に興味はなく(自分自身、妹がいるため余り妹系が好きではありませんでした)こんなものもあるんだなあ、程度の気持ちしかなかったです。その後もネットで調べているとうまるちゃんをちょくちょく見かけましたが気にかけていませんでした。しかし、日常が連載終了をしてしまい、私はなにを見ればいいのか。と思い悩んでいた時、ふとうまるちゃんの事を思い出し、1話だけ見てみるか。とそこまで期待せずアニメを見た時、私の心はうまるちゃんに完全に奪われてしまいました。学校は完璧超人、それに相対して家では兄を困らせるワガママ妹というギャップ、そんな妹に振り回されながらも厳しく、そして優しく見守ってくれるまさに女神のような兄(余談ですが私はこの兄が一番好きです)、うまるちゃんの友達との学生生活、そしてやはりなんとも言えないあの日常感、どれもとても素晴らしかったです。その日は1話だけと思っていたのですが気づいたら全話を一気に見てしまいました。その次の日、書店に行きすぐさま全話を購入しました。そして今では毎週書店で立ち読みをして心を癒しています。うまるちゃんはとても面白い漫画ですので皆さん、特に妹がいる方は一読してみてください。きっと自然に頬が緩むでしょう。さて、漫画のお話が長くなりました。次は料理のお話です。料理は小学校の時から好きでしたね、とは言っても最初の方は図書室のレシピ本をみて知識を得るぐらいのことしかしていませんでした。本格的に料理を作ったのは中学の時からです。妹とオムライスを作ってあげたのが始まりでした。今だとスイーツ作りが楽しいですね。作っている時に立ち上る甘い香り、出来上がるのを待っているゆったりとした時間、料理が完成した時の喜びが最高ですね。主に妹や、母のために作っています。私はあまり甘いものが好きではないので作るの専門ですね。今後の目標としては母の料理を全て覚えることですね。母の料理の中でも餃子、中華まんは絶対に覚えて後を継ぎたいです。料理は1つ1つの作業をわけて行くと意外に簡単ですのでやってみたことがない人でも是非一度チャレンジしてみてください。私のお話はこんなところですね。この文を読んで日常ファン、うまるファンが増えてくれればとても嬉しいので皆さん是非読んでみて下さい。



城戸淳二入塾式の宣誓です↑



私は最近ハロプロのアイドル、モーニング娘。が凄く好きなのでモーニング娘。'16 について紹介したいと思います！今のモー娘は凄くかっこよくてフォーメーションダンスが特徴です。ハマったきっかけは踊ってみた動画のむすめん。というグループの動画を見たことです。動画を見ていくうちにモー娘そのものにハマりました。最初はモー娘ってまだ居たのかと大変失礼なことを思った記憶がありますが、聴いてみると昔のモー娘とは全く印象が違うかっこいい曲で振りもハードで凄く驚きました。推しの子は一人に絞れないのですがえりぼん、だーいし、まーちゃんがすきです！卒業しちゃったけど鞆師、れいなも本当に大好きでした！オススメ曲はたくさんあります！「What is LOVE?」や「泡沫サタデーナイト!」「わがまま 気のまま 愛のジョーク」「愛の軍団」「気まぐれプリンセス」「TIKI BUN」「One・Two・Three」「恋愛ハンター」などなど…Youtube のモー娘チャンネルでMVがフルで観れるので、気になった人ぜひ観てください！What is LOVE?は本当に頭から離れない曲です！サビの振りが好きすぎて毎日観てしまいます… 泡沫は5月に卒業したズッキーこと鈴木香音ちゃんの卒業コンサートが凄く感動しました。明るい曲なのに泣きそうになります。同じハロプロならアンジュルムの「大器晩成」や「臥薪嘗胆」という曲もオススメなので聴いてみてください！

実はS.Kさんから、次のようなメールも先に頂いていたのです。彼が作った「スイーツ」の写真です。ですが、iPhoneからのデータをうまくコピーできずにいたのです（高島町親の会では中途半端な趣味を紹介してしまいました。ゴメンナサイ…）。そのことを知った彼は、表面のような約1500字のメールを再度送ってくれたのです。ありがとう！でも、何とか添付の写真3枚をこのたびワードに貼ることができましたので、こちらで紹介しますね。

こんばんは。3組の S. K です。学年通信の原稿を送らせて頂きます。また、料理の写真を幾つか添付させておきました。どれか良いものを使用していただいたら幸いです。何か不備などがありましたら、メールで返信していただいても、明日直接伝えていただいても大丈夫です。



先週の日曜日は、川西町で「全国中学生チャレンジカップ」というホッケーの大会がありました。中学生の大会ではありませんが、いつも川西中の生徒には高校の大会でお世話になっているので、置農、米商、そして米興も大会役員としてお手伝いしてきました。ホッケーはメジャーな競技ではありませんが、だからこそ、小学生のスポ少から中学、高校、社会人、マスターズまで皆、仲良くやっています。これほど「幅広い年代が、毎週1カ所に集まって共に練習をする」ことができるスポーツも珍しいのではないのでしょうか。その大会の会場に、ちょっと場違いな「リクルートスーツを着た女性」が現れたのです。その女性は私の方に歩いて来て「先生、お久しぶりです！」と言うのです。マジマジと顔を見ると、それは4年前の米興卒業生であり、当時のホッケー部の女子キャプテンS.Hさんでした。Hさんは、Y大学1学部看護学科の4年生です。ですから、2年生諸君が興譲館大学講座でお世話になった「山口咲奈枝先生」にも教わっているそうです。今日はOS病院の「就職試験」だったそうで、その帰りホッケー場に寄ってくれました。病院の試験は「小論文と面接」だったそうです。地元ゆえ、先輩達が受験報告書（過去問）を残してくれているので、試験はほぼ大丈夫！ということでした。大学では陸上部に所属しフルマラソンも走ったそうです。来年は親元からOS病院に通うそうです。彼女には、社会人になってからもホッケーに関わるよう話しました。

部活動やクラスを受け持った生徒と、卒業後に会うのは大変嬉しいことです。それが、本人から会いに来てくれるのなら尚更のことです。彼女はこうも言っていました。「先生達が土日でも部活動を見てくれることは、あの頃は特に何も感じなかった。けれど、今になって思うとそれは先生も大変なことで、すごく感謝している」と。大変イイ大人になったこと！と喜びもひとしおでした。

その前日の土曜日、3年生のある保護者のお母様が来校されました。それは「山口和士先生」の講演会のビデオを観るためです。お母様は「保護者向け講演会」はご聴講されています。ので、今回は山口先生の「3年生向け」そして「難関大希望者向け」の講演を聴くためのご来校です。実はそのお母様は、米興時代の私の同級生Y.Yさんです。Yさんは「昨年度は鈴木晃彦先生のご講演大変良かった。実は村上館長の話もお聞きしたかった。学生の頃は、講演会は寝てばかりだったけれど、今はすごく聴きたいし、お話が湯水のように体に吸収される。山口和士先生の話は体に電気が走るようだった。だから、生徒向けの話も聴きたいと思った」と。それで、同級生のよしみで連絡をくれたということです。連絡をもらったことも嬉しかったのですが、山口先生の話を知りたい



と言ってくれたことは、もっと嬉しいことでした。私も山口先生は大好きですし、勝手に「人生の師」と仰いでいます。ですが、残念ながら今回の講演はホッケーの東北大会で不在でした。個人的に観たいと思い、ビデオ撮影をお願いしていました。私は学校関係か否かに関わらず、一生に一度は山口先生にお会いし、お話を聴いてほしいと思っています。今年6月の講演を逃した方で、お聴きしたい人は、生徒・保護者に関わらず連絡下さい。先のYさんはこうも言いました。「昔からそうだったのかもしれないけれど、興譲館の先生方は、いつも生徒のために一所懸命やってくれて、本当に感謝しています」。先生でなくて生徒や保護者が上手なのが米興です？ **終**

← S.Kさんの作品は、米興HP上にて「ぜひフルカラーで」観て下さい！

↓ 県高校総体 ある3年生の雄姿

